



Lawo HOME との接続

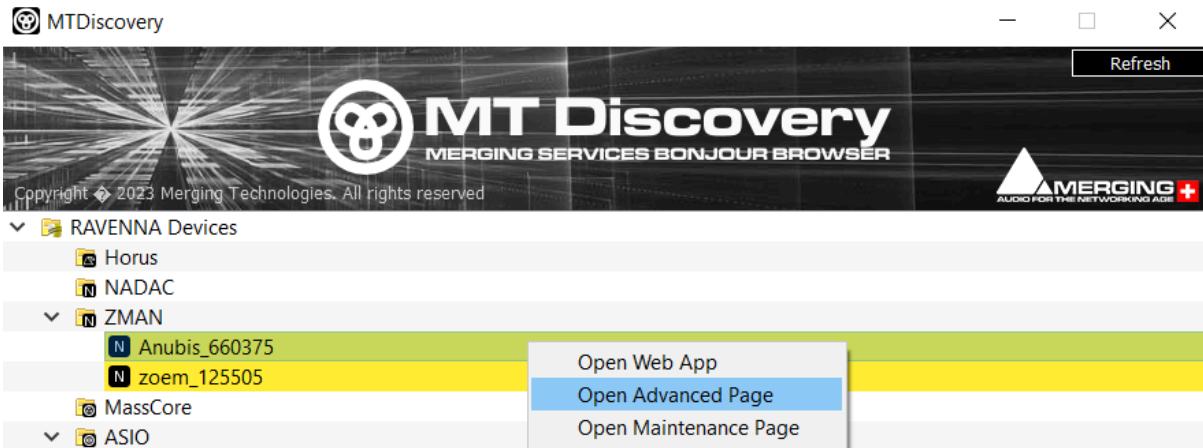
HOME は 1.8 以上を使用してください。

必要なもの

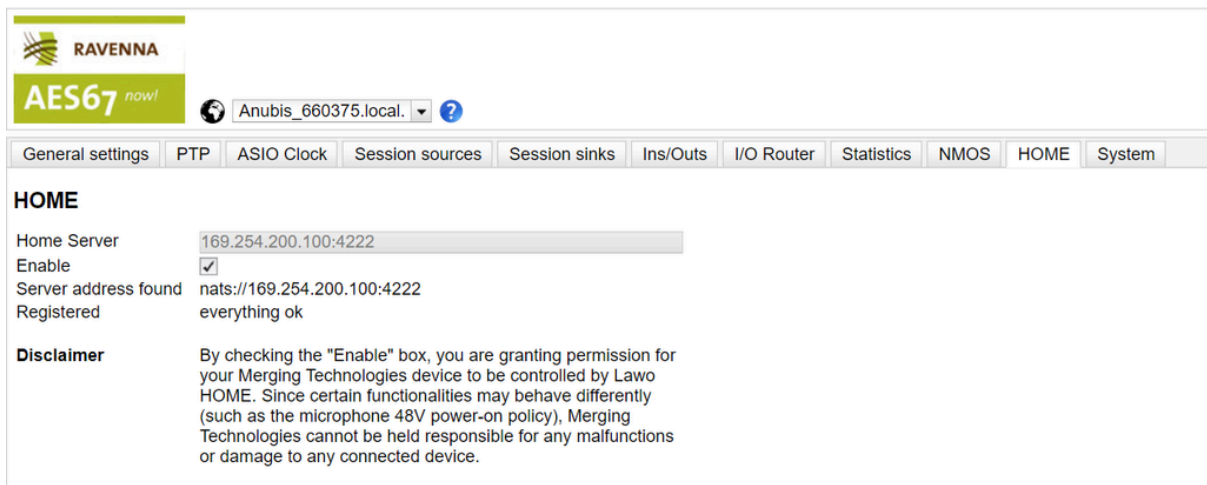
- Merging と Lawo HOME で認証されているインターフェースとドライバーを使用してください。
 - Horus
 - Hapi, Hapi MKII
 - Merging MAD (v2.27 以降)
- インターフェースのファームウェアは 最新のものにアップデートしてください。

セットアップ

- MTDDiscovery を開き、互換性のあるデバイスを見つけて右クリックし、“Open advanced page” をクリックしてください。



- “HOME” タブ を開き、Lawo HOME server (または server cluster) の IP:PORT を入力し、“Enable” にチェックを入れます。





🔴 HOME クラスターを指定する場合は、各 <ip>:<port> の組み合わせを ”;” で区切ってください (例: 169.254.200.100:4222;169.254.1.222:4223)。
デバイスはすべての HOME server に同時に接続されるのではなく、サーバー エントリをリストとして使用し、サーバー接続が失敗した場合は、リストを循環しながら次のサーバーで試行されます。

- Registered に “everything ok” と表示されたら、HOME Device タブ に デバイス が表示されます。

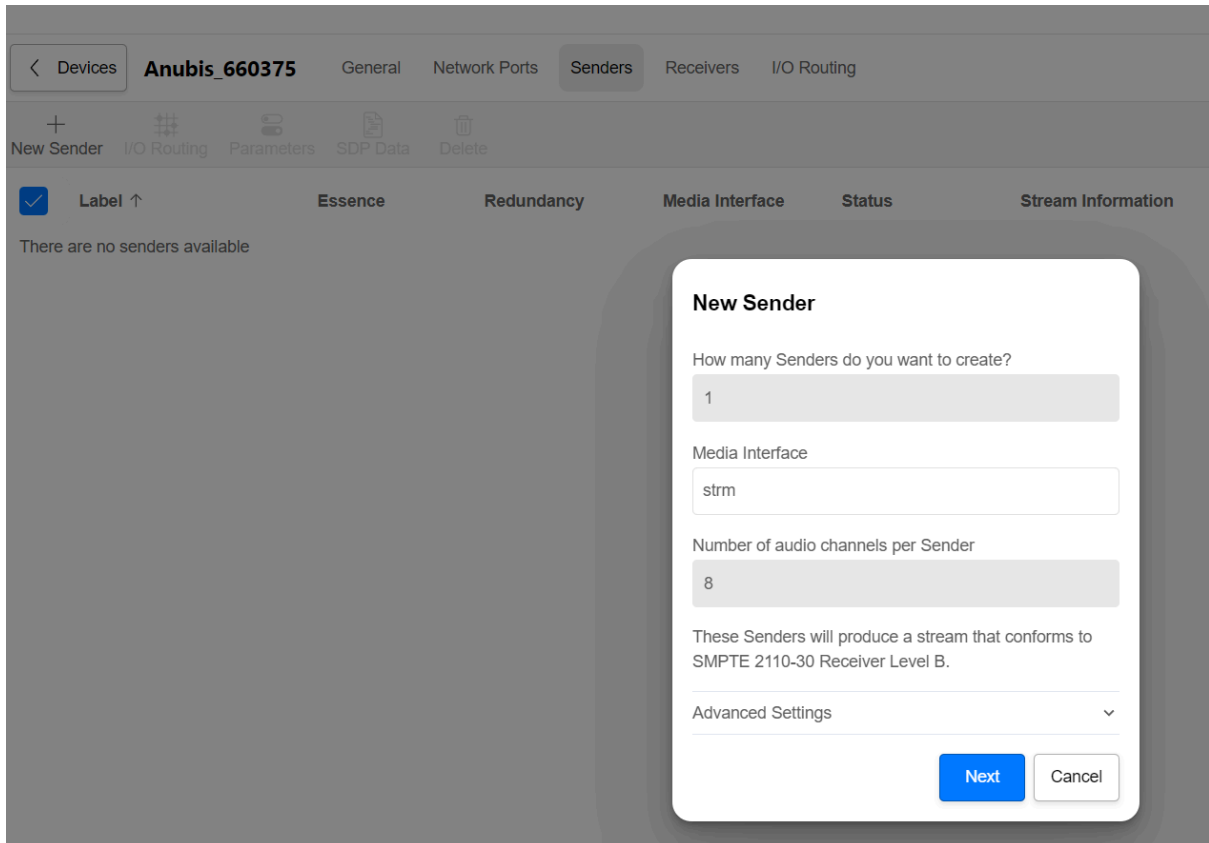
Devices	Devices	Filters				
Stream Routing	Approve	Quarantine	Reboot	More		
Signal Ownership Groups	<input type="checkbox"/>	Label ↑	Location	Status	Admissions	Device Type
Snapshots	<input type="checkbox"/>	Anubis_660375		✓ Online	-	MERGING+ANUBIS
Health						

- Lawo HOME から Merging デバイスを切断するには、“Enable” チェックボックスのチェックを外してください。

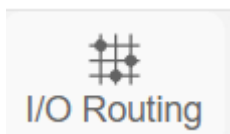


HOME で source を設定する方法

- Source を作成するには、デバイスをクリックし、“Senders” タブを開き “New Sender” をクリックし、これから作成する Source (Sender) の数、source ごとのチャンネル数、source label を設定してください。



- 作成したら “I/O Routing” をクリックして物理入力をストリームチャンネルにルーティングし、物理入力を選択して “Connect” をクリックすると source を設定することができます。





I/O Routing Device I/O to Senders

Sources Destinations

Disconnect

Physical Input →

input Loopback7	1
input Loopback8	1
input Combo 1/2Combo 1/2: Left	1
input Combo 1/2Combo 1/2: Right	1
input Jack 3/4Jack 3/4: Left	1
input Jack 3/4Jack 3/4: Right	1
input Built-in MicBuilt-in Mic	1
input Main 1-21	1
input Main 1-22	1
input Phone 11	1
input Phone 12	1

Connected Input **IP Sender Channel**

	output test_tx 1
	output test_tx 2
	output test_tx 3
	output test_tx 4
	output test_tx 5
	output test_tx 6
	output test_tx 7
	output test_tx 8

I/O Routing Device I/O to Senders

Sources Destinations

Disconnect

Physical Input →

input Loopback7	1
input Loopback8	1
input Combo 1/2Combo 1/2: Left	2
input Combo 1/2Combo 1/2: Right	2
input Jack 3/4Jack 3/4: Left	2
input Jack 3/4Jack 3/4: Right	2
input Built-in MicBuilt-in Mic	2
input Main 1-21	1
input Main 1-22	1
input Phone 11	1
input Phone 12	1

Connected Input **IP Sender Channel**

input Combo 1/2Combo 1/2: Left	output test_tx 1
input Combo 1/2Combo 1/2: Right	output test_tx 2
input Jack 3/4Jack 3/4: Left	output test_tx 3
input Jack 3/4Jack 3/4: Right	output test_tx 4
input Built-in MicBuilt-in Mic	output test_tx 5
inputMain 1-21	output test_tx 6
inputMain 1-22	output test_tx 7
input Phone 11	output test_tx 8



- Source の詳細なパラメータを設定するには、デバイスの “Advanced page” をご覧ください。

k | Session sources | Session sinks | Ins/Outs | I/O Router | Statistics | NMOS | HOME | System

2018

Configuration

Enabled

IO

Name

Description

Output Interface(s)

Auto-unicast retrieve unicast address+port from sink (RTSP)

Address user defined

Address sec user defined

TTL

Payload Type

Codec

Frame size (samples)

DSCP

RefClk PTP traceable

Channels

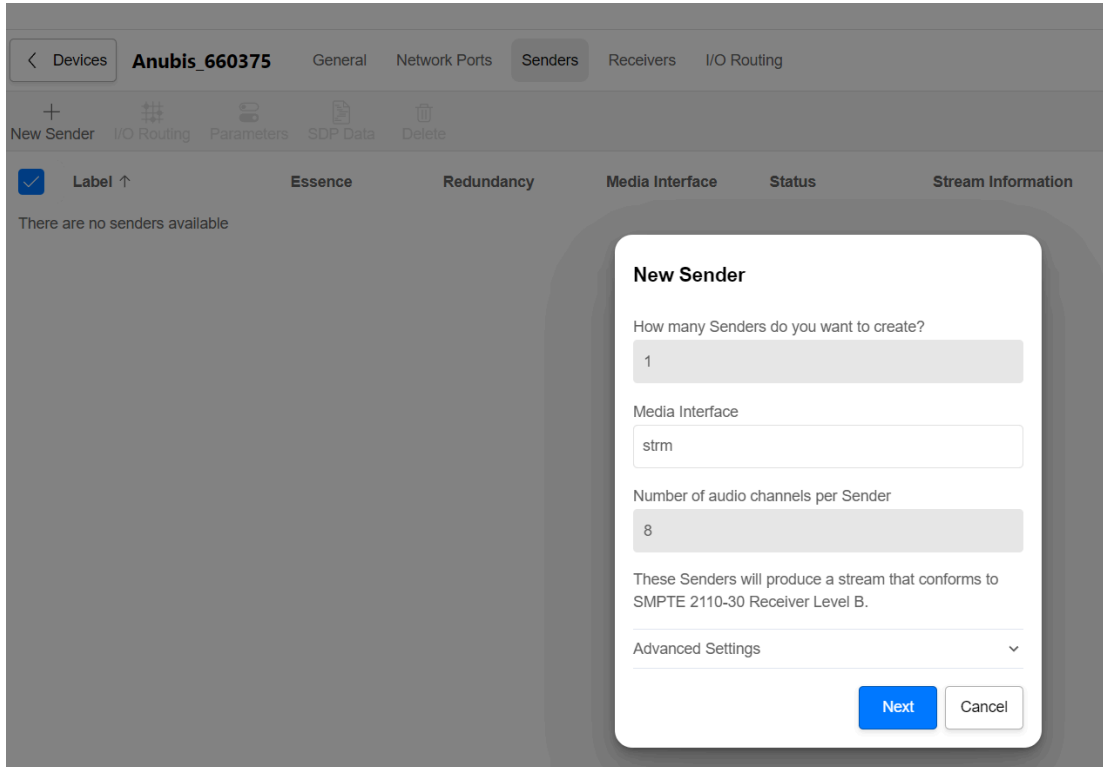
Channel count

Inputs 1 2 3 4 5 6 7 8

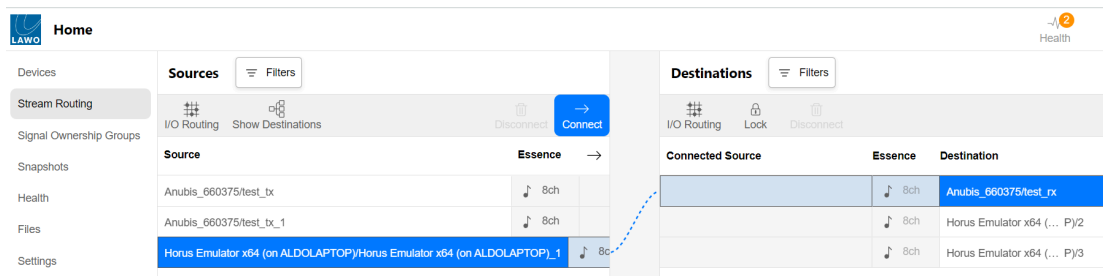


HOME で sink を設定する方法

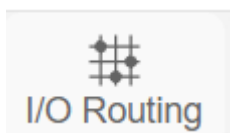
- Sink を作成するには、デバイスをクリックし、“Receivers” タブを開き “New Receiver” をクリックし、これから作成する Sink (Receiver) の数、sink ごとのチャンネル数、sink label を設定してください。

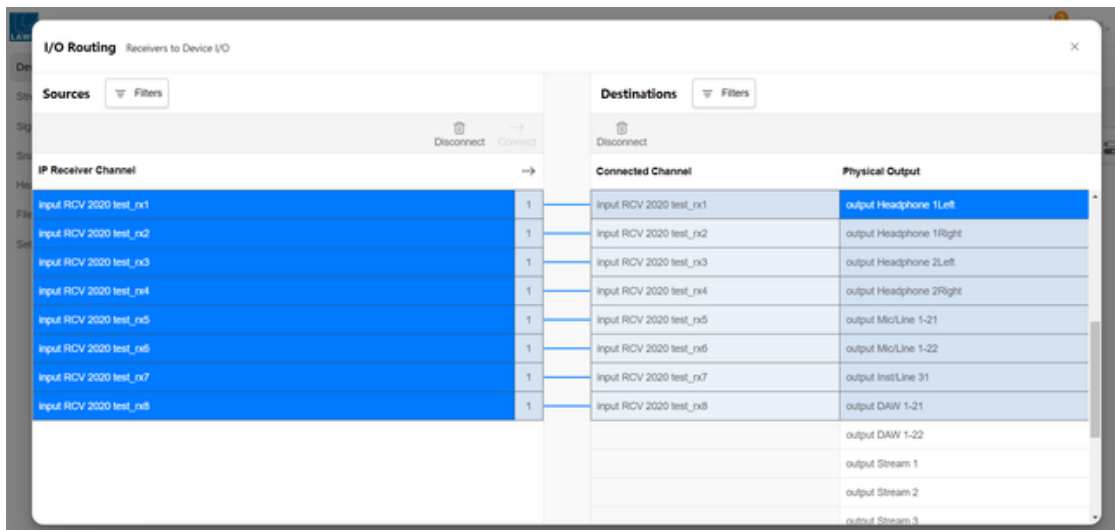
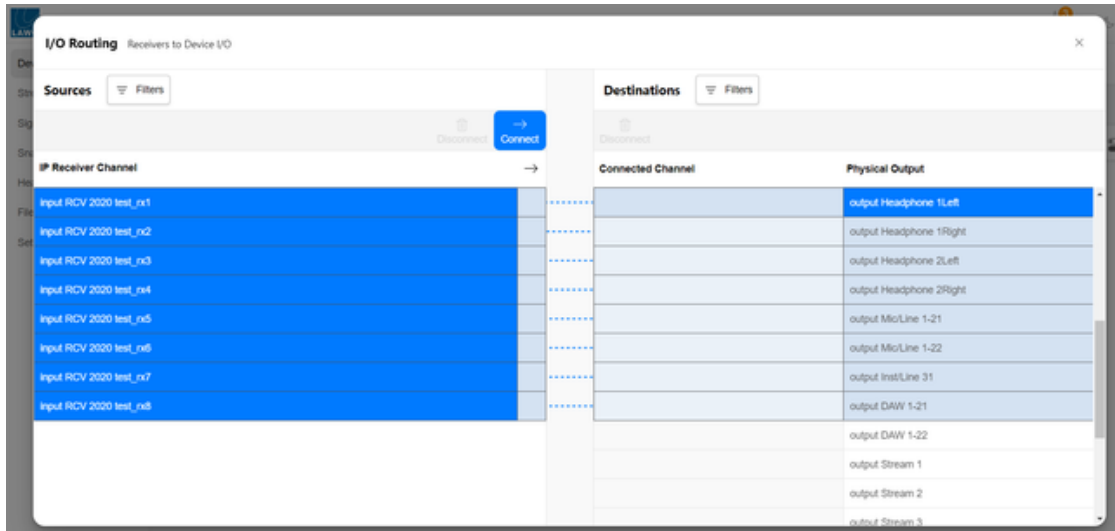


- Sink routing に進む前に、新しく作成した Sink にストリームを接続する必要があります。“Stream routing” を開いて 目的のストリームを接続してください



- 完了したら、“I/O Routing” をクリックしてチャンネルを選択し、“Connect” をクリックすることで、ストリームチャンネルを物理出力にルーティングすることが可能です。





- Sink の詳細なパラメータを設定するには、デバイスの "Advanced Page" をご覧ください。



Session sources Session sinks Ins/Outs I/O Router Statistics NMOS HOME

Configuration

IO: Stream

Label: test_rx

Description:

Source: manual://test_rx Manual

```
o=- 140 0 IN IP4 169.254.238.204
s=test_rx
t=0 0
a=clock-domain:PTPv2 0
m=audio 5004 RTP/AVP 98
c=IN IP4 239.1.238.204/15
a=rtpmap:98 L24/48000/8
a=ptime:1
a=framecount:48
a=source-filter: incl IN IP4 239.1.238.204
169.254.238.204
a=mediaclk:direct=0
a=recvonly
```

Apply

Delay (samples): 0 (Auto)

Ignore refclk GMID accept source locked to any PTP Master

Ignore refclk Domain accept source locked from any PTP Domain

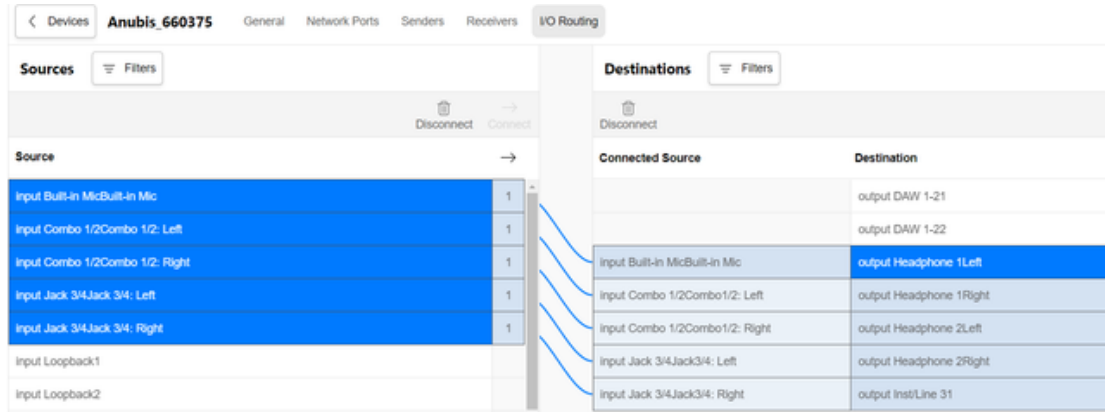
Relaxed check accept source with lower channel count

Channels: Channel count 8



HOMEで内部ルーティングを設定する方法

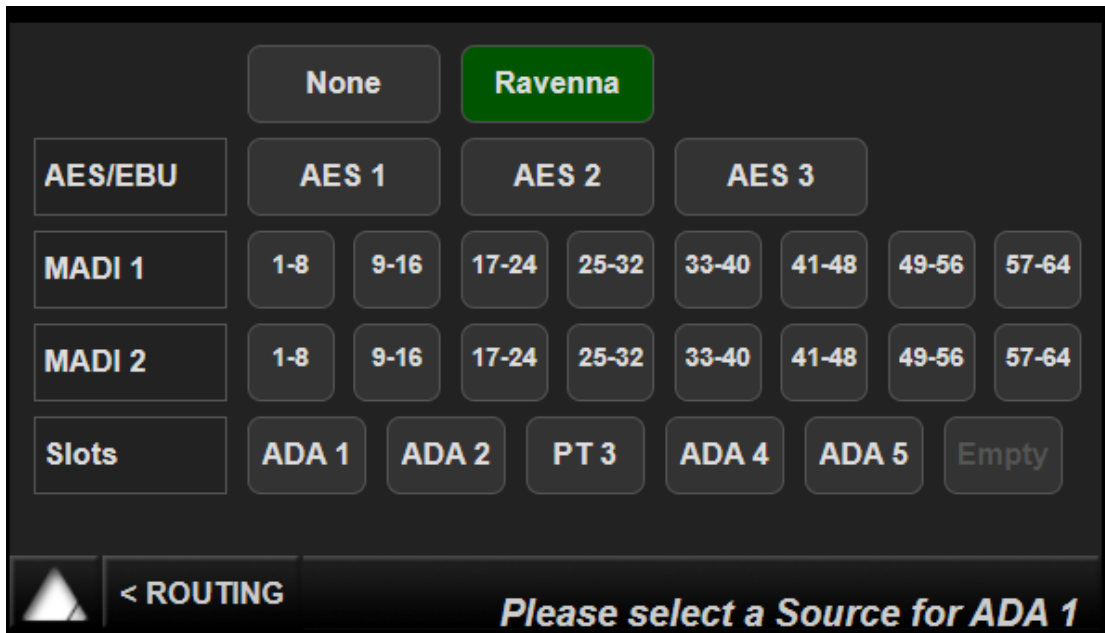
- HOME の Device タブには、“Receivers” の横に “I/O Routing” があり、IP -> Physical または Physical -> IP だけでなく、Physical -> Physical (ZMANベースのデバイスの場合)にも入力と出力をルーティングできます。



既知の制限

HOME UI の柔軟性により、特定の操作が Merging デバイスで実行可能であることが示唆される場合があります。ただし、HOME は汎用設計であるため、Merging デバイスの機能や制約により、特定のアクションが制限されます。

- Anubis または Hapi MKII では仮想入力を仮想出力にパッチすることはできません。
- Horus/Hapi MKI では、Sourceを設定するときに入力カードを切断することはできません(すべてのソースには常に入力が必要です)。
- Horus/Hapi MKIでは、Source/Sink を設定する場合、すべての物理チャンネルが同じ I/Oカードに属し、連続している必要があります。
- Horus/Hapi MKI では、HOMEで内部ルーティングはサポートされていません。Merging の UI (Setup → Routing)で行ってください。



- Windows が IGMP クエリに時間内に応答しないため、スイッチはマルチキャストグループから Masscore を削除します。Windows の応答時間により、スイッチの IGMP タイミングを延長する必要がある場合があります。

価格

Lawo HOME との互換性は、Merging のハードウェア デバイスのファームウェアに含まれています。追加料金はかかりません。Lawo の価格については、Lawo の販売店または SI にお問い合わせください。

MAD に関しては、Lawo HOME 互換性のロックを解除するためのオプションが必要です。価格については、お近くの Merging ディーラー/販売店にお問い合わせください。



サポート

Merging 製品の互換性に関する問題を報告したい場合は、support@merging.comまでご連絡ください。
Lawo 製品に関するお問い合わせは、Lawo の営業担当者にお問い合わせください。